

活動No	H22- 3	実施河川レンジャー	溝延河川レンジャー
活動名	名張川ウォーキングとビオトープづくり		
実施日	平成23年2月6日(日) 9:00～16:00		
実施場所	名張川河川敷（新夏見橋近辺）		
活動目的	名張川の川沿を散策し、身近な川での自然体験を行うとともに、自然の川の流れの中で、生物観測用のビオトープづくりを通じて川への一層の関心をもってもらい、良い川づくりの共鳴者を増やす。		
参加者	8名、毎日新聞記者：1名（計9名）		
活動内容	<p>①名張川左岸（糸川橋～沖津藻橋）に至る区間の遊歩道区間の整備 ウォーキングコースの環境整備(事務局、河川レンジャー、国土交通省職員)</p> <p>①遊歩道区間の除草（ヨシ、クズ）を実施。 ②新夏見橋下連節ブロック箇所の遊歩道化（グリ、砂を敷き歩行容易化）を実施。 ③堤防からビオトープまでの遊歩道整地を実施。 ④ビオトープづくりの下準備を実施。</p> <hr/> <p>②平尾山カルチャーパークより名張川に移動し、バードウォッチング、ビオトープづくりを実施。 (一般参加者対象) 集合場所を平尾山カルチャーパークのパーキングとし、徒歩にて名張川の河岸に移動、バードウォッチングを実施。また新夏見橋付近に参加者全員で石等を積んでビオトープづくりを実施。</p> <hr/> <p>③②の作業終了後、出発点に引き返し、アンケートを回収。 次回以降のプラン作成の参考資料となるよう、今回のイベントに対するアンケートを実施。 また、自己学習として名張市営図書館の利用も紹介。</p>		
講師	なし		

今回の活動は、小生として初めての企画で参加者がどの程度集まるか危惧されました。参加者の募集はチラシの配布の他、日頃から付き合いをいただいている方へ声かけを行い集まっていたきました。

バードウォッチングコースは 対岸を通行する道路よりはよく目につくコースではありますが、新夏見橋下に連節ブロックが施工されていることから、遊歩道散策の途中で道が遮断され、今まで利用される方は少なかったのではないかと思います。

今回、簡易ではありますが遊歩道化を行ったことで、散策者の安全確保にも繋がったと思います。企画者としては、小学生の参加を期待していましたが、今回は、幼稚園児1名でした。

毎日新聞記者に活動のチラシをメールにて案内し、行事の取材にきていただくことができ、翌日の伊賀版に記事を掲載していただきました。

不特定多数の方々にレンジャー活動が報道されたことを大変うれしく思います。幼稚園児へのインタビューでは、「川遊びは大変面白い」とのことで、先行き楽しくなると予感しております。

川ベリのトイレ、駐車場対策が進むと近場での川ベリ散策が増え、川への市民の関心が一層増えるものと思います。

今回作成のビオトープ池は、今後定期的に観察する機会をいただき、レンジャー活動及び市民の川への関心が進展することを期待したいと思います。

活動状況

連節ブロックの遊歩道化(グリ・砂敷き)①



連節ブロックの遊歩道化(グリ・砂敷き)②



連節ブロックの遊歩道化(グリ・砂敷き)③



集合場所での事前説明



活動状況

名張川 川の増水時についての説明



名張川 ウォーキング



名張川 バードウォッチング①



名張川 バードウォッチング②



名張川 バードウォッチング③



名張川 ビオトープづくり①



名張川 ビオトープづくり②



名張川 ビオトープづくり③

